

社長からのメッセージ

—2019年度—

2020年6月15日

東京特殊電線株式会社

投資家の皆様へ

2019年度通期は、連結売上高177億円（前年度比▲5.5%）、連結営業利益22億円（同比+7.0%）という結果になりました。連結売上高は前年を下回りましたが、フィリピン子会社の新工場も本格稼働したことにより、営業利益では前年より増益とすることが出来ました。

2020年度は、当社グループの2020中期経営計画の最終年度になります。中期経営計画実施期間には、シート用ヒータ線、コンタクトプローブ、三層絶縁電線などの当社が強みを持った事業における増産・効率化投資を実施し、生産体制を整備してきました。



投資家の皆様へ

2019年度3Q後半からは需要が上向き、速やかに受注対応することで売り上げを伸ばし、2020年目標達成に向け尽力してまいりました。しかしながら、4Q半ばで新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大が始まりました。コロナ禍により受注は減少、海外子会社では操業が一時停止するなどその影響は極めて大きく、残念ながら2020年度見込みは目標を下回る見通しとなりました。

当社はコロナ禍の影響を慎重に計りつつ、今後も「永続的に成長する企業」を目指すことを基本として、2021年以降の新たな中期経営計画の策定を行ってまいります。

取締役社長

鈴木義博

